

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

2020年度第3四半期決算説明資料

2021年1月29日

- 1. 2020年度第3四半期決算概要 P.3
- 2. 2020年度通期見通し P.4
- 3. COVID-19影響と対応 P.5
- 4. 2020年度取り組み P.6
- 5. 参考資料 (主要航路積高・消席率・運賃指数) P.7
- 6. 参考資料 (船隊構成、航路構成) P.8

1. 2020年度第3四半期決算概要

□ 要点

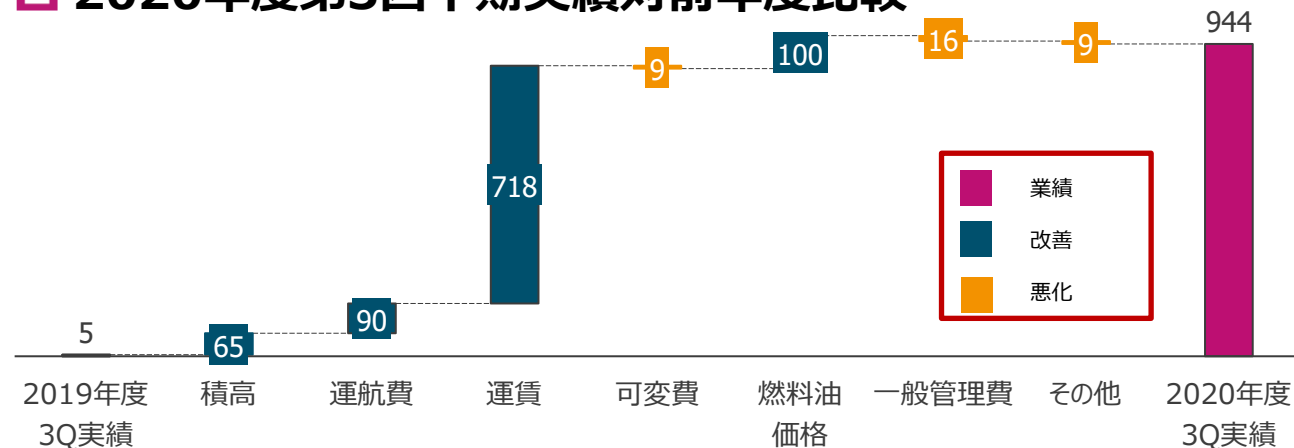
需要の急回復に伴う短期運賃市況の上昇により、前年同期比大幅に改善し3Qで944百万US\$の黒字を達成 (+939百万US\$)

- ・市場の荷動きは、前年同期比で北米航路では+25%程度増加、世界全体でも+8%程度の増加に転じるなど、復調傾向が鮮明に。
- ・急増する貨物量と、コロナ感染の再拡大により、サプライチェーン全体が混乱、港湾・内陸部の混雑が深刻化。
- ・需要の急回復に伴って、短期運賃市況は大きく上昇。

□ 2020年度第3四半期実績

	2019年度			2020年度			3Q		1Q-3Q	
	上期実績	3Q実績	1Q-3Q実績	上期実績	3Q実績	1Q-3Q実績	増減	増減 (%)	増減	増減 (%)
売上高	5,984	2,914	8,898	5,917	3,757	9,673	842	28.9%	775	8.7%
税引き後損益	126	5	131	682	944	1,626	939	20639%	1,496	1146.2%
燃料油価格 (US\$/MT)	\$427	\$417	\$424	\$328	\$314	\$323	-\$103		-\$101	

□ 2020年度第3四半期実績対前年度比較



2020年度 3Q その他実績

- EBITDA : 1,293 百万US\$
- EBIT : 1,036 百万US\$
- 総燃料消費量 : 933 千 MT
- 総積高 : 3,204千 TEU

- 積高：対前年同期比で積高は増加に転じる。
- 運航費：プロダクト改善効果が現出。港湾混雑により各地で滞船が生じ回転率は悪化。
- 運賃：短期市況が大きく上昇。
- 可変費：コスト削減は進展するも、港湾や内陸の混雑により追加費用が発生中。
- 燃料油価格：油価は下落。
- 一般管理費：代理店費用が増加。
- その他：為替影響や金利等による悪化。

2. 2020年度通期見通し

□ 要点

- 3Qでは荷動きと短期運賃市況の改善を背景に税引き後利益944百万US\$を達成。4Qは旧正月等の季節要因及びCOVID-19の感染再拡大による荷動き減退の懸念はあるものの、引き続き堅調な荷動きが続く見込みで、税引き後利益900百万US\$を予想。
- 2020年後半より貨物量の急回復及びCOVID-19感染再拡大による活動制限等によって、サプライチェーン全体の混乱が発生。スケジュールの安定化、スペース・コンテナ不足の解消に向けて、引き続き取り組みを強化。(P.5参照)

□ 2020年度通期見通し

(単位：百万US\$)

*2020年10月末時点

	2020年度 (前回予想*)		
	上期 実績	下期 予想	通期 予想
売上高	5,917	5,994	11,911
EBITDA	1,342	872	2,214
EBIT	846	371	1,217
税引き後損益	682	245	928

2020年度 (最新予想)					
上期 実績	3Q 実績	1Q-3Q 実績	4Q 予想	下期 予想	通期 予想
5,917	3,757	9,674	4,000	7,757	13,674
1,342	1,293	2,635	1,235	2,528	3,870
846	1,036	1,882	990	2,026	2,872
682	944	1,626	900	1,844	2,526

通期 (対前回予想)	
増減	増減 (%)
1,763	14.8%
1,656	74.8%
1,655	136.0%
1,598	172.2%

燃料油価格 (US\$/MT)	\$328	\$367	\$352
-----------------	-------	-------	-------

\$328	\$314	\$323	\$376	\$346	\$337
-------	-------	-------	-------	-------	-------

-\$16

	2019年度 実績		
	上期	下期	通期
売上高	5,984	5,881	11,865
EBITDA	-	-	1,368
EBIT	-	-	422
税引き後損益	126	-22	105

通期 (対前年)	
増減	増減 (%)
1,809	15.2%
2,502	182.9%
2,450	580.6%
2,421	2305.7%

燃料油価格 (US\$/MT)	\$427	\$456	\$441
-----------------	-------	-------	-------

-\$104

3. COVID-19影響と対応

COVID-19影響と対応

発生事象

- 第3四半期に入り、消費財や医療関連の需要は更に増加、在庫不足により世界的に輸送量が急増。第3四半期前年同期比では、北米航路の市場荷動きは+25%増加、世界全体でも+8%程度増加と、COVID-19による貨物量減少が深刻であった上期から一転して回復基調が鮮明に。
- COVID-19感染再拡大により、各地で労働力不足や活動制限が発生。港湾での入港待ち、荷役効率低下による停泊時間の長期化、鉄道やトラックの順番待ちなどが各地で発生。
- 在庫積み増しやトラック、シャーシ不足等による実入りコンテナ引き取りの遅延。
- 世界各国で移動制限が強化、従来の柔軟性のある船員交代が困難に。



サプライチェーン全体に対して許容量を超える負担がかかり、各地で混乱が深刻化。
船会社では船の遅延、スケジュール順守率の低下、輸送スペースとコンテナの不足が発生中。



ONEの 対応

Customer service oriented

- 急増する問い合わせ対応のため、“セルフサービス”プラットフォームやライブチャットなどEC機能を強化。
- 顧客とコンテナ、スペースの状況について密なコミュニケーションを行い、リソースの最大化。

Operation excellency

- 船の遅延と貨物量急増による積み残し解消に向け、追加の船舶を確保。臨時便を実施。
- コンテナ調達を最大化。下期に大型発注を実行、デリバリー次第投入中。
- AI技術も活用し、自社スペースの最大運用、及び追加船舶を活用したコンテナ回送を実施、コンテナ持ち帰り最大化。
- 上期に引き続きターミナルとの協業を継続、効率的な荷役の実行。
- 船員交代のための臨時寄港にも最大限対応、船主との協力を強化。

Quality of employee

- 従業員の安全を第一に、全世界のオフィスで柔軟な在宅勤務を実施中。
- 従業員同士の繋がり維持を目的とした活動を世界各地で実施。地域社会に根差したCSR活動等。

4. 2020年度取り組み

来期以降へ向けた、競争力強化と差別化へ向けた取り組み

- 24,000TEUの超大型船6隻の15年長期傭船契約に関する基本合意書を締結。最新鋭のエネルギー効率技術を搭載予定、業界最高水準の競争力を目指す。
- THE ALLIANCEの2021年度新プロダクトを発表。需要の伸びに応じて供給を増加。便数の増加やトランジットタイムの改善、より広範な寄港地のカバーを実現。
- 成長が見込まれるマーケットの取り込み強化を目的とした、アジア域内、欧州発インド・中東で新サービスの開始を発表。
- CO2排出削減に向け、プロペラの交換や船首構造の改造など、運航環境に応じた運航船の改良を継続して実施。
- E-Commerceのさらなる強化（運賃見積もり、Booking から支払いまで、船積み手続きの利便性向上、輸送状況把握や書類手続きの機能強化、Live Chatなど）

5. 参考資料（主要航路別積高・消席率・運賃指数）

（単位：千TEU）

航路別積高・消席率		2019年度							2020年度			
		1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績
北米往航	積高	669	773	1,442	665	585	1,250	2,692	610	765	1,375	730
	消席率	86%	94%	90%	93%	92%	93%	91%	96%	100%	98%	103%
欧州往航	積高	460	488	947	440	443	882	1,830	347	419	766	402
	消席率	87%	95%	91%	92%	100%	96%	93%	96%	98%	97%	102%
北米復航	積高	350	310	660	320	331	650	1,310	327	328	654	368
	消席率	47%	37%	42%	42%	49%	45%	44%	51%	43%	47%	54%
欧州復航	積高	323	328	651	362	325	687	1,339	290	289	579	331
	消席率	64%	64%	64%	72%	67%	69%	67%	75%	70%	73%	80%

（2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数）

航路別運賃指数		2019年度							2020年度			
		1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績
北米往航		103	105	104	104	110	107	105	110	119	115	140
欧州往航		100	101	100	98	111	105	102	106	103	104	125

- 積高・消席率： 需要の急回復と港湾、内陸混雑によりスペース、コンテナ不足が常態化、北米航路、欧州航路共に消席率100%以上で推移。
- 運賃指数： 北米航路、欧州航路共に短期運賃市況の上昇を受け運賃指数は上昇。

6. 参考資料（船隊構成・航路構成）

□ 船隊構成

Size		1)2020年9月末	2)2020年12月末	2)-1)
		>= 20,000 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	120,600 6
10,500 - 20,000 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	411,600 30	411,600 30	0 0
9,800 - 10,500 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	100,100 10	100,100 10	0 0
7,800 - 9,800 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	383,326 43	383,326 43	0 0
6,000 - 7,800 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	197,287 30	177,216 27	▲ 20,071 ▲ 3
5,200 - 6,000 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	83,992 15	89,458 16	5,466 1
4,600 - 5,200 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	103,731 21	103,731 21	0 0
4,300 - 4,600 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	62,952 14	67,271 15	4,319 1
3,500 - 4,300 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	21,162 5	33,193 8	12,031 3
2,400 - 3,500 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	63,151 24	71,143 27	7,992 3
1,300 - 2,400 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	12,009 7	13,951 8	1,942 1
1,000 - 1,300 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	10,626 10	9,584 9	▲ 1,042 ▲ 1
< 1,000 TEU	キャパシティ(TEU) 隻数	0 0	0 0	0 0
合計	キャパシティ(TEU) 隻数	1,570,536 215	1,581,173 220	10,637 5

第3四半期末

□ 航路構成

(2020年3Q 往復スペースの構成)

